

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369

平成 23 年 3 月 11 日の【東北地方太平洋沖地震】は、マグニチュード 9.0 と国内観測史上最大の大規模地震となり、この大地震で大津波や原発事故が発生し、未曾有の大災害をもたらしました。

この度の地震災害で亡くなられた皆さまに、心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、被災された皆さま、被災地に所縁の深い皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

(町民グラウンド)

平成 23 年第 1 回定例会

日の出町行政財産使用料条例の一部を改正する条例 他 19 議案を審議

平成 23 年度の予算審査特別委員会の要旨 4P

「町政を問う」9 人の議員 **一般質問** 8P

「躍進ひので！^{ニュー}新5大作戦」の中心施策

86億3,000万円を計上 対前年度8,000万円(0.94%)の増

歳入の主なもの		歳出の主なもの	
町 税	26億5361万円	西多摩郡町村電算共同システム経費	8000万円
地方交付税	6億5080万円	がん医療費助成事業経費	4879万円
分担金及び負担金	2億3948万円	高齢者医療費助成事業経費	9036万円
国庫支出金	6億610万円	ひので森林こども大久野公園経費	4258万円
都支出金	21億599万円	こども医療助成経費	5944万円
諸収入	11億5750万円	次世代育成クーポン事業経費	2億6405万円
町 債	5億2890万円	青少年育成支援事業経費	5019万円
		予防接種事業経費	3340万円
		勝峰山林道開設事業経費	5060万円
		町営東本宿住宅建替え事業経費	1億2674万円
		町立小・中学校空調整備経費	1億5698万円
		給食センター耐震補強・改修経費	1775万円

一般会計予算額の推移



23年度各会計

会計名	平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減率	
一般会計	86億3000万円	85億5000万円	+0.94%	
特別会計	国民健康保険	17億9000万円	17億600万円	+4.9%
	老人保健	※老人保健制度は廃止され、後期高齢者医療制度に変わりました。	20万円	-100.0%
	下水道事業	8億7400万円	8億4300万円	+3.7%
	介護保険	9億9000万円	9億6700万円	+2.4%
	後期高齢者医療	2億8200万円	2億8800万円	-2.1%
計	39億3600万円	38億420万円	+3.5%	
合計	125億6600万円	123億5420万円	+1.7%	

定例会

3月3日から16日までの14日間の会期で開催された。初日は、橋本町長の施政方針演説につづいて、人事案件・条例改正・補正予算・指定管理者の指定・道路の認定などの15議案が審議された。2日目(3日目は休会)には9人の議員による、町政全般に関する23項目の一般質問が行なわれ、最終日には23年度の各会計当初予算が審議された。

審議内容

初日は、固定資産評価審査委員会委員に青木庸夫氏を選任することへの同意。
 【条例改正】行政財産使用料条例(行政財産の目的外使用許可の適正化を図るため)、表彰条例(表彰の対象者から職員を除外すること及び年齢要件を削除するため)、職員の給与に関する条例(職員の特別休暇を改正するため)、がん医療費の助成に関する条例(青少年の医療費の助成に関する条例の制定による)、国民健康保険条例及び出産助成金支給に関する条例(出産育児一時金を改定するため)についての一部改正が可決。
 【補正予算】平成22年度各会計の補正予算4件(一般(第4号)・国民健康保険(第3号)・介護保険(第3号)・後期高齢者医療(第3号))が可決。
 【指定管理者の指定】生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるる温泉センターと肝要の里を日の出町サービス総合センター株式会社、商工振興ひろばを日の出町商工会に指定することが可決。
 【道路線の認定】町道道場20号線(平井1751番3先〜1751番8先の幅員4m、延長27.4m)及び新井7号線(大久野2475番14先〜2475番11先の幅員5m、延長37.67m)が認定。
 最終日は、平成23年度の一般及び特別会計の当初予算が可決。

補正予算

平成22年度日の出町一般会計補正予算(第4号)

●2億600万円を追加し、総額90億1,400万円に!●

	主な内訳	補正額	
歳入	地方交付税	普通交付税(16,841千円)の追加。	16,841千円
	国庫支出金	地域活性化交付金(22,349千円)の追加、民生費補助金(2,647千円)の減額が主なもの。	19,553千円
	都支出金	民生費補助金(11,237千円)、衛生費補助金(4,056千円)、農林水産業費補助金(18,472千円)、土木費補助金(7,233千円)の減額が主なもの。	△42,143千円
	繰入金	財政調整基金繰入金(186,597千円)の追加。	186,597千円
歳出	総務費	財政調整基金積立金(190,937千円)の追加、日の出町サービス総合センター(株)事務費交付金(14,645千円)の減額が主なもの。	154,352千円
	民生費	国民健康保険保険基盤安定繰出金(7,665千円)、国民健康保険特別会計繰出金(186,597千円)の追加、保育所運営費(22,229千円)の減額が主なもの。	121,630千円
	衛生費	衛生薬品費(4,959千円)、がん検診委託料(4,000千円)、西秋川衛生組合負担金(6,970千円)の減額が主なもの。	△35,044千円
	農林水産業費	坊平玉の内地区農業集落道縦断見直し測量設計委託料(7,308千円)、坊平玉の内地区農業集落道整備工事・第1期(6,613千円)、間伐事業委託料(5,187千円)の減額が主なもの。	△32,821千円
	土木費	補助道第3号線道路改良工事(8,470千円)、補助道第7号線道路改良工事に伴う支障物件移転料(4,147千円)、御殿橋架替工事に伴う用地費(9,500千円)の減額が主なもの。	△29,823千円
	教育費	平井中改修工事(17,535千円)、図書購入費(3,100千円)の追加が主なもの。	22,712千円

平成23年度当初予算を集中審議

3月8日の予算審査特別委員会において、歳入歳出合わせて74項目にわたる意見・質疑が行われた。
3月16日の最終日には、委員長による審査経過・審査結果の報告及び委員長報告に対する賛成・反対討論を受け、採決により、各会計の当初予算すべてが可決。

主な質問の要旨

一般会計

- 平成23年度予算の編成方針と重点施策について。
- 各財政指標及び公会計制度について。
- 今後の財政運営、財政収支の見通しはどうか。
- 国政の状況、交付税の積算や子ども手当の実施状況が、各項目に与える影響額をどのように考えているか。
- 恒久財源の確保について。



予算討論

一般会計

予算に対する見方は賛否両論さて、あなたなら…

賛成

新国会 加藤 光徳

平成23年度一般会計予算は、橋本聖二町長が第五代の町長に就任して初めての予算であり、これまでの町政を継承し発展させながらも新しい息吹を吹き込んだ予算であり、大いに期待している。

予算規模は、前年度比0.9%増の86億3千万円となり、まさに町民みんなのための予算編成が行われたと受止め、期待どおりすばらしい内容であると新国会の全員が確信した。

町財政の根幹をなす町税は、過去の政策の結果として、固定資産税は安定した税収となっているものの、個人町民税は経済不況の影響を受け9千6百万円の減額となっている。地方交付税は、8千4百万円の増額、国庫支出金は、1億1千万円増額、都支出金は、保育園2園の改築終了に伴い1億4千万円の減額、歳出については、次世代育成クーポンが前年度より1千2百万円の増額、新に青少年育成資金、医療費助成費で約5千万円、高齢者医療費助成費が1千3百万円増額され、日の出森林こども大久野公園整備や良好な教育環境を整備する小中学校へのエアコン設置や給食センターの耐震補強工事費等も計上されている。この予算をもとに議会と行政が日の出町という車の両輪となり、「みんなでつくるうりの出町！」の実現に向け、邁進することをお約束申し上げます。

反対

町民党 田村 みさ子

町独自の現金やクーポンによる補助金事業の総額は昨年より約1億2千万円増加の5億8千万円、継続性の懸念の声が聞かれたが、町民税減収と決定プロセスで財政裏付けが十分に議論されなかったためと考える。公約であったも議会提出即決は民主的な決め方ではない。審議を尽くしてこそ「みんなでつくるうり 日の出町！」ではないか。86億3千万円の財政規模と歳入内訳をみて、日の出町民が受けられる福祉の限界点はどこか、身の丈にあった福祉の在り方を冷静に議論すべきである。サービスを次々と提供することが自治ではない。限りある予算を決定するのは主権者である町民だ。何が必要な福祉なのか、町民が担う部分はどこなのか。今さえよければいいという予算の組み方は町民の納得が得られない。

東日本大震災が発生したが、災害対策の点検と確認をお願いする。耐震補強改修工事では公民館が5年前から実施計画にある。耐震補強が使用中止か、先延ばしせず決断すべきだ。橋や道路、施設全般も財政見直しと年次修繕計画をたて進めてほしい。

災害時は正確な情報を適切な時に提供することだ。原発事故が現在進行形だが、放射線量の測定や特に妊婦さんや子どもたちへの適切な対応をお願いする。

賛成

公明党 大澤 言枝

厳しい町税の状況。国の政策は何ら進まない不透明な動向の中、町の財源確保は極めて難しい現状と考える。こうした情勢の中、プラス予算、86億3千万円、対前年度比0.9%増の予算は、事務事業全般にわたり徹底した見直しがあったものと評価する。

歳入においては、根幹をなす町税は、1億円減と落込んだ。しかし、地方交付税・国庫支出金・都の総合交付金の確保により、町税のマイナスを補えた。歳出については町長の公約である青少年支援事業・小中学校のエアコン設置・防犯カメラの設置他、新規事業が数多く示されたこと、大いに期待する。

循環組合からの地域振興費は、全町民のためのものとして、更なる配分を進めていく努力を要望する。町民のニーズは、時代の変化とともに膨れ上がる、瞬時に取り組み、町民の期待に添えてほしい。

プラス予算とはいえ厳しい状況下のもと樂觀視されることなく徹底した事業仕分け、更なる内部努力により、歳入確保、歳出削減に努めてほしい。

小中学校の冷房化の空調化工事は、町内の建設業界の育成・発展のため、町内設備業者に施工を発注すべきと考える。

反対

共産党 折田 眞知子

施政方針では、ぶれずに暮しのための行政サービスを安定的に提供するとの表明がされた。

財政運営をみれば、政策誘導で転入者の増加により、税収の落ち込みが最小限に抑えられた。一方、起債は6億3千4百万円、臨時財政対策債の借入れ2億7千790万円にのぼり、交付税の先食い状態が続いていると言わざるを得ない。循環組合からの地域振興費は、ハード事業が終った以上、その使途についての議論が必要であると思われる。一般会計の不足分に充当するのではなく、目的を持った使い道が求められる。

今年度見込み経常収支比率は118.7%、地域振興費を算入すると96%との答弁があったが、財政の硬直化は免れず、優先順位に基づいたスクラップが課題になる。川北地区緑化保全検討交付金の支出は地元自治会に交付するのではなく、実施した事業への補助金とすよう求める。

三吉野桜木地区整備基金は5百万円の積み立てが行われたが、将来の道路整備に必要であるとの理由には無理がある。

当初予算は納める税金の使い道の優先順位を示す場である。町民の声がどのように反映されたのか、わかりやすく示すことを求める。

- 総合文化体育センター等施設アドバイザリ業務委託、人事制度構築委託の委託先及びパブリックコメントの実施等について。
- 電算共同システム経費による効果は。
- バス運行に伴う補助金増の理由は。
- 防犯カメラの設置場所は。



審 議 さ れ た 議 案

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	新	公	町	ク	共	結 果
2	日の出町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同 意
3	日の出町行政財産使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可 決
4	日の出町表彰条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可 決
5	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可 決
6	日の出町がん医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可 決
7	日の出町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可 決
8	日の出町出産助成金支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可 決
議案第9号～第12号は各会計補正予算							
9	平成22年度日の出町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	可 決
10	平成22年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可 決
11	平成22年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可 決
12	平成22年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可 決
議案第13号～第17号は平成23年度各会計当初予算（※）							
13	平成23年度日の出町一般会計予算	○	○	×	○	×	可 決
14	平成23年度日の出町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可 決
15	平成23年度日の出町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可 決
16	平成23年度日の出町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可 決
17	平成23年度日の出町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	可 決
18	生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるつる温泉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可 決
19	ひので肝要の里の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	可 決
20	日の出町商工振興ひろばの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可 決
21	日の出町道路線の認定について	○	○	○	○	○	可 決

※ 3月8日に開催した予算審査特別委員会での審査結果を審議（討論・採決）

<各会派の名称と所属議員>

★印…会派代表者

会 派 名	上記の表の略号	所 属 議 員	人数
新 政 会	新	★加藤光徳・東 亨・神田芳男・清水秀明・小澤光雄 須崎安通・濱田敏郎・平野隆史・濱中映慈	9人
町 民 党	町	★田村みさ子・青鹿和男	2人
公 明 党	公	★大澤言枝・嘉倉 治	2人
ク ラ ブ 21	ク	★星野 茂・神田 廣	2人
日 本 共 産 党	共	★折田真知子	1人



- 受験生チャレンジ支援貸付事業、寝たきり高齢者等支援手当、いきいき生活座談会推進補助金の内容について。
- ヒブワクチン、肺炎球菌の予防接種事業について、死亡事故があったが、国等からの指導・通達について。
- 乳がん検診受診率向上事業の内容について。

- 日照対策補助金、住宅用太陽光発電システム設置補助金の前年度実績と対象の内容について。
- 観光まちづくり事業の支援策の内容について。
- 勝峰山林道開設工事で健康づくりなどと結びつけた今後の展開について。
- 日の出団地の道路整備工事、御殿橋架け替え工事の財源内訳について。
- 東本宿住宅建設工事でバリアフリー、太陽光発電等の考えは。
- 小中学校空調整備経費の財源内訳及び電気使用料等について。
- 特色ある学校づくり推進経費による、昨年の成果は。

特別会計

- 公民館の利用状況及び耐震工事について。
- 図書館の貸し出し冊数及び開館時間の見直しについて。
- 給食センター耐震補強工事の内容について。
- 国民健康保険
国保税の減額理由及び、滞納分の取り扱いについて。



- 下水道事業
繰入金の今後の推移について。
- 介護保険
（本特別会計についての質疑等はなし）



- 後期高齢者医療
保険料及び広域連合納付金の減額理由は。
- 葬祭費について。

一般質問

町政を問う

要旨

9人の議員

※3月11日の大地震で犠牲となられた方々のご冥福を祈り、黙とうの後に開催。
また、当日、計画停電が予定されていたことから、議員各位の協力のもと、再質問は行いませんでした。

小・中学校の冷房化について

おおさわ ことえ 大澤 言枝

答 23年度に小・中学校 全てにクーラーを設置



校の教室内の室温上昇が児童・生徒の学習に對する集中力を低下させていることから、23年度に小・中学校すべての普通教室にクーラーを設置する。都の補助支援期間は22年度から24年度までの3カ年事業となつていますが、町においては23年度中に冷房化を完了予定。
質 事業費・補助制度については。
町長 総額1億5698万円を予算化。実質的には、国及び



大久野小学校



平井中学校

都の補助は全体の40%程度で、60%が町の持ち出しとなる。
質 空調化工事の発注方法は。
町長 地方自治法第234条第1項の定めるところにより、競争入札の予定だが、詳細については、今後、検討していく。

他の質問
・子育て応援メール配信を！
・HTV・1ウィルス対策を！

「みんなでつろう 日の出町！」 しくみづくりを

たむら みさこ 田村 みさ子

答 第四次長期総合計画を具体的に形にしたもの



質 提案にどう対応されたか。
副町長 団体や町民から多種多様なご意見・提案等いただいた。審議委員の公募方式、計画の策定でのパブリックコメントなど、みんなで日の出町を



創っていく体制を具体化しつつある。
質 審議会の見直しや委員交代の状況は。
参事 22年末に審議会等の設置、運営に関する指針を策定し、3月1日付で各課に周知した。新たな審議会については、委員の選任方法、公募委員の募集と選考方法に留意すること、審議会の設置目的の達成に努めることとして。既存審議会は2年程度で廃止や統合による発展的な見直しを図る。

質 「みんなでつろう 日の出町！」は提案をうけるしくみと職員の意識改革が必要。具体的な取組みは。
副町長 職員には常に課題を見つけて自ら考える力を身につけること、課題に対してどう知恵をしぼるか、頭の中に解決のインデックスをつくるよう期待している。

他の質問

・西多摩郡町村電算共同システムについて



行政改革で財政の見える化を！

かぐろ じよ 嘉倉 治

答 新地方公会計制度で透明な行政運営を図る

質 総務省方式改定モデル、新地方公会計制度が導入されるが、概要と行政運営に及ぼす効果、メリットは。
参事 ①決算状況、資産、コスト等の情報が公表され透明性が図れる。②資産、債務の適正管理が図れる。③決算内容を評価し翌年度の予算編成へ反映させるサイクルの確立、財政の効率化、マネジメントの向上が図れる。
質 東京都が実施している公会計制度、複式簿記、発生主義会計は、効率的、効果的な行政運営の手法としては最適であり、「財政の見える化」にも大きく貢献できる。今後の取り組みは。

参事 費用対効果の観点から、総務省改定モデルを選択した。東京都モデルの効果は高いと推測するが、継続的に検討し、「分りやすい財政状況の公表」に努めたい。
質 事務事業の大胆な見直し、事業仕分は不
参事 行政改革は不

他の質問
・環境にやさしい町づくりを！
・高齢者の見守りと買い物弱者救済を！





小中学校・給食センターの 建替え計画は 平野 隆史

答 今後、町当局と協議し
検討していく

質 老朽化に伴う小中学校及び学校給食センターの建替え計画は、
教育長 町内各学校の建設年度は、新しい学校でも既に23年を経過しており、老朽化していることは否めない。
中長期的に計画する時期にきている。給食センターも建設から33年経過し、耐震補強改修が必要との診断結果で、23年8月に補強工事を実施する予定で、今後、給食センターを含め小中学校の建替え計画に合わせて町当局と協議し検討していく。

14教室で、今後、教室不足が予想され、23年度に学区変更の検討委員会を設置し検討する。
質 通学路の安全安心対策は。
教育長 管理員による交通安全の確保等の他、PTA連絡協議会

が毎年7月に安全点検を実施し、危険箇所改善要望を教育委員会が受け、関係機関と協議し対応している。
他の質問
生活道路の整備促進について

教育長 平井小学校区
の児童数が増え、4月より2学級増の11学級の予定、全普通教室は



耐震補強予定の学校給食センター

学校教育の環境整備について

神田 廣

答 小学校英語指導に外国人講師を迎え入れる



質 小中学校の学級編成は、市町村が独自予算で行えば、現場の事情に応じた学級編成が行えるが町の対応は。
課長 全国学力状況調査結果では、小学校が概ね平均で、中学校は

平均を上回る状況にある。人間関係や豊かな人間性を培うため、生活集団としての学級には一定の規模が必要と考える。今後とも都の方針に従い学級編成を行っていく。
質 小学校英語は5・6年生で、今年4月から必修となるが、英語指導に不安はないか。
課長 各小学校の希望にもよるが、5・6年生の英語授業、年間35時間の一部を担当してもらうため、外国人講師を入れ指導することで、



教員の負担感は軽減されるかと考える。
質 小中学校一般教室の冷房化対応は。
課長 平成23年度に、

国・都の補助制度を活用し、設計委託後、夏休み中にクーラーの設置を竣工する予定で準備を進めている。設置箇所は、小学校29教室、中学校17教室の予定。

他の質問
（仮称）野鳥の森・子ども自然公園の整備

地域医療の現状と課題について

星野 茂

答 患者の利便性を図るため
連携促進が必要



質 町に寄せられている医療機関への苦情や要望は。
課長 町内の私立病院、開業医等の把握はしていないが、阿伎留医療センター内の意見箱などによると、接遇・勤務態度等の苦情や、施設

設備・受付・会計方法などに関する要望が寄せられていると聞いている。
質 西多摩の公立病院における医師不足の問題は。
課長 青梅総合病院は、内科・産婦人科・救急科において医師が拡充されている。福生病院では、内科・外科・産婦人科を中心に拡充、阿伎留医療センターでは、内科・外科を中心に拡充している。奥多摩病院は、医師一人当たりの患者数が四病院



阿伎留医療センター

中最も多く、適切な人員配置が求められている。
質 公立病院の連携と開業医との協力体制についての現状は。
課長 病院間の連携は困難な課題も多いが、連携体制を進めている。開業医との協力体制は、各病院によって取り組みに違いがあるのが現状と聞いている。

他の質問
町のスポーツ振興について

質 子どもの遊び場として多目的使用は可能か。また、遊具や駐車場等の対策は。
課長 これまで様々な地域イベントなど、地域に密着した行事に利用され、複合遊具の設置等も検討した結果、屋根付シェルターを設置することを優先し、多目的に利用できるような整備をする。また、駐車場及びごみ置場については、他に設置箇所を検討する。
質 都道184号線の拡幅計画はどのような計画か。また、現在ある防火水槽はどうなるのか。
課長 西多摩建設事務所は、事業化に向けて検討していきたいが、

（仮称）ひので森林子ども大久野公園の全体計画は
濱田 敏郎
答 子育て支援の主要事業に
位置づけ整備を実施

家屋が連たんしているため、地元の合意形成等に特段の配慮を願いたいとのことである。防火水槽は事業化が決定し、線形が確定してから検討する。
質 バス停の安全確保について。
課長 公園整備に合わせ、広場からバ

ス停に降りる階段を新設し、バスを待つ小学生等が公園の中でも待機できるようにする。

他の質問
安全・安心な町づくりについて
ごみの戸別収集、有料化について



（仮称）ひので森林子ども大久野公園平面図

の医療機関への苦情や要望は。
課長 町内の私立病院、開業医等の把握はしていないが、阿伎留医療センター内の意見箱などによると、接遇・勤務態度等の苦情や、施設

介護老人福祉・保健施設について

あおしかかずお
青鹿和男



答 裁判所で破産整理が行われているので見守る

質 現在、町内における介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム6か所）、介護老人保健施設（老人保健施設2か所）があるが、今後における施設の建設計画は。



概観上は建築の終わっている「やすらぎの里日の出」

課長 平成19年12月に制定された、「日の出町における介護保険施設等の整備計画のあり方に関する基本方針」に基づき対応をしている。方針制定以後、町に協議のあった介護保険施設を遠慮していただいている。

質 建設途上で、東京都の補助事業が取り消しとなった介護老人保健施設「やすらぎの里日の出」の、その後の状況は。
課長 東京都が、平成21年5月、資金調達に

他の質問
・指定管理者制度の問題点と課題について
・有害ごみ（廃蛍光管・廃乾電池）焼却問題

ついて自己資金の調達先を偽ったこと等の理由で、補助金の交付決定を取り消し、次いで医療法人の設立許可をも取り消し、以後、施設の建設工事も中止したままの状況となっている。裁判所において破産整理が行われていることから、町としては、行方を見守っている。



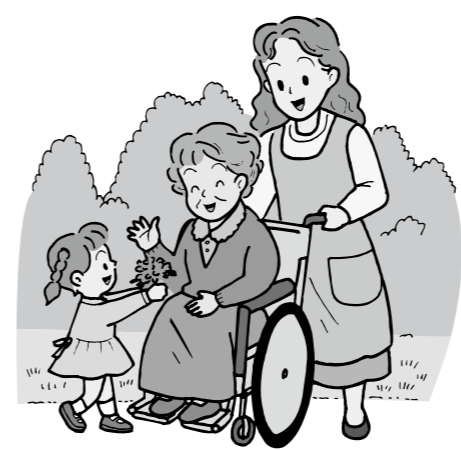
答 ニーズ実態調査をし計画策定作業の中で検討

質 町として制度改革への対応策を検討しているか。
課長 医療と介護の連携強化、介護人材の確保とサービスの質の向上、高齢者の住まいの整備、認知症対策の推進、保険者による主体的な取り組みの推進、保険料の上昇の緩和等があげられている。給付メニューとして24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの創設、複合型サービスの創設があり、町としてニーズ実態調査等により把握し、24年度から始まる高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画の策定作業で検討する。

質 介護ボランティアの育成を求める。
課長 「いつでもヘルパー養成事業」などを通じ、91名のヘルパーを養成しており、実施を検討している。「介護ボランティア制度」などを通じ、自発的に活動できるよう進めている。

チケット制度の創設を求める。
課長 補助金の活用も視野に入れ、現在、実施に向け検討を進めている。

他の質問
・難聴対策について
・生活保護について



請願・陳情は！

6月の定例会につきましては、5月25日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- ① 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
- ② 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
- ④ 陳情・請願書は原則として、A4版（縦長）の用紙に横書きで記入し提出してください。
- ⑤ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑥ 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時間にご来庁願います）
- ⑦ その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

〔問い合わせ 電話（597）0511 内361〕

本会議の会議録をインターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。知りたい情報を広域的確に調べることができますので、積極的にご活用ください。



日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等にも掲載しています。
※会議録は、本会議のみとなります。

次の定例会は6月に開かれます。本会議・委員会（常任・予算・決算）は傍聴が出来ます。お気軽にお越しください。

6月定例会日程（予定）

- 5月26日（木）議会運営委員会
- 6月2日（木）本会議（議案審議）
- 6月3日（金）常任委員会
- 6月8日（水）議会運営委員会
- 6月14日（火）本会議（一般質問）
- 6月15日（水）本会議（一般質問）
- 6月16日（木）本会議（議案審議）

議会日誌

秋川流域市町村議会議員大会

去る2月16日、五日市地域交流センター（まほろばホール）において、秋川流域市町村議会正副議長会主催による各市町村2人の議員が意見発表を行いました。



演題「年が明けて思った事」
星野 茂 議員



演題「少子化問題について」
濱中 映 慈 議員

編集後記

三陸沖で発生した巨大地震・津波は、東北地方を中心に壊滅的な打撃を与え、被害の全容は未だ明らかではありません。福島第一原子力発電所の二次災害も含め未曾有の規模となっています。

被災された方々に、心からお悔やみ、お見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興を願わずにはられません。

議会としても、この度の大地震を教訓とし、町民の皆様が安心して安全に暮らすことができる「災害に強いまちづくり」をめざしてまいります。

最後に、編集委員一同、興味を持っていただけ「議会だより」づくりに努めてまいります。皆様のご意見をお寄せくださいますようお願いしております。

編集委員 青鹿 和男

議会だより編集委員

須崎 安通 大澤 言枝 神田 廣
青鹿 和男 濱田 敏郎 平野 隆史

議会事務局

☎ (597) 0511 内線360

再生紙を使用しています。